

令和2年 第11回 根室市教育委員会 会議録

1. 公開案件の審議（会議録省略）

議案第50号 根室市修学旅行保護者負担軽減事業助成金交付要綱

2. 非公開案件の審議（会議録省略）

(1) 議案第51号 根室市立学校条例の一部を改正する条例案を市長に提出することについて

結 論 原案どおり決定

(2) 報告第8号 教育上特別な措置を必要とする児童の教育措置決定について

結 論 原案どおり決定

結 論 原案どおり決定

3. 意見交換

○目的

教育行政の課題についての情報共有、さらには頂いた意見を今後の事務を進める上での参考とするために行うもの

①根室市における新型コロナウイルス感染症についての報告

【 教育部長 】

令和2年11月8日時点では計151件で陽性が3件、陰性が148件となっており、先週は10件のPCR検査が実施されたところである。北海道については同年11月7日をもってステージ3へ移行している。また、文部科学省が作成した「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」では学校の行動基準がレベル2となり、教科活動については感染リスクの高い活動を停止することとなっており、また、部活動についても感染リスクの低い活動から徐々に実施し、教師等が活動状況の認識を徹底することとなっている。各学校においてもマニュアルに基づいて行動するよう要請を行ったところである。

また、これより各課課長から新型コロナウイルス感染症に係る新しい生活様式に対応した各事業の取り組みについて報告をさせていただく。

【 教育総務課長 】

保護者に向けた文書の発出について報告を行う。北海道教育委員会から保護者を対象に発出した文書があり、これについては、学校を通じて各家庭に送付予定である。内容としては、これまでは子どもに風邪症状がある場合の登校を制限することとなっていたが、この度同居する家族に症状がある場合にも出席停止とすることが加えられた。

次にサーマルカメラの配備について、新型コロナウイルス感染症の長期化への備えと社会変容への対応ということで、新たな生活様式に沿った地域の「文化芸術・スポーツ・イベント」等の振興発信のため、総合文化会館等への常設配備、小・中学校等共用で移動式のサーマルカメラの配備を行ったところである。

移動式のサーマルカメラについては、今後予定されている小・中学校の文化祭等の行事に活用することとし、来校者が多いと予想される学校に優先的に貸し出すことを予定している。

【 社会教育課長 】

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた「根室市民作品展」開催結果の報告を行う。新型コロナウイルス感染症の影響により市民の文化作品の発表機会が制限され、根室市文化祭も中止を余儀なくされたところであるが、市教委では新しい生活様式の実践による市民の文化活動を後押しするため、感染症防止対策助成金制度を創設し、多くの文化団体等がこの助成金制度を活用し活動しているところである。このような状況の中、作品発表の機会を求め意見が多く寄せられたため、市教委が出品者・鑑賞者の感染リスクを極力抑える対策を講じ、希望する市民の作品発表、鑑賞機会の創設、完成症対策を踏まえた作品展示、ステージ発表及び鑑賞・観覧スペースの在り方について新たなスタイルを模索し、今後に向けたモデルケースとして令和2年10月30日から11月1日の3日間で「根室市民作品展」の開催を行った。展示作品については写真、美術、陶芸、書道、硬筆、写経、手芸、手工芸の計165点の出品があったところである。来場者は合計523名となっている。

【 社会体育課長 】

「最東端ねむろシーサイドマラソン2020」の報告を行う。密を避ける新しい生活様式に対応したマラソン大会として、オンラインマラソンという形で開催を行ったところである。参加者は1,000名、出走者993名、完走者964名となっている。完走賞については、花咲ガニを配送している。また、参加者から抽選した100名に北海しまえびせんべいを贈呈しており、参加者全員にオリジナルのスポーツマスクの配送を行ったところである。

完走者には実際の走行コースを疑似体験できる「フィニッシャーズムービー」を配信している。

道内の参加者は318名となっており、内根室市の参加者は62名となっている。

【 図書館長 】

最初にバースデイブック事業についての報告を行う。この事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内の児童生徒が学習機会の制限を受けている中、それぞれの誕生日に本を贈呈することで、家庭学習はもとより生きる力を育むための一助とすることを目的とし、また、市内書店への経済効果を図るため実施を行っている。事業の推進に当たっては実行委員会を組織して取り組んでいる。

内容としては、市内在住の4歳から18歳までの幼児・児童・生徒を対象とし、対象となる子どもの誕生日に4歳から6歳の子どもに対しては、司書が選定した図書リストから希望図書を選んでいただき配送を行っている。7歳から18歳の子どもに対しては、市内書店で利用可能な2,000円分の図書引換券を送付し、利用していただいている。

令和2年10月末現在で図書発送数192件、引換券発送数814件となっている。

続きましてリモート学習環境整備についてである。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新しい生活様式の中でリモート学習が広がりを見せていることから、生涯学習施設である図書館においてもこれらに対応した学習環境の充実を図るために1階閲覧室内にパーティションを設置した学習スペースとパソコン通信環境の強化を行ったところである。

②総合教育会議について

【 教育部長 】

令和2年11月26日（木）の16時から予定している総合教育会議の現時点で予定している流れについての説明をさせていただく。

まず、最初の議題として「根室市教育大綱の改訂について」としており、改訂版の提案を考えている。根室市の総合計画書に記載している「個性を伸ばし豊かな心と感性をはぐくむまち」と教育行政方針の柱を組み合わせた形で1回目の大綱を作成しているところである。最初の総合計画の基本計画としては平成27年度からの10年間となっており、今年がちょうど中間年を超えたところである。この計画期間も大綱の方も5年を一区切りとしており、令和2年度から令和6年度までの5年間を一区切りとして今回の大綱の案を作成したいと考えている。改訂については、ベースの方は変えずに作成したいと考えているところである。

続いて、「新型コロナ禍での教育について」である。委員の皆様からご意見のあった学校行事見直しの効用や学びをとめない工夫、また、おうち時間が長くなったことによる子どものSNSの過度な利用と低年齢化について議論していただければと考えている。

最後に「将来のまちづくりを見据えた教育について」である。ご意見のあったコミュニティスクールの在り方について、まず根室市の大枠部分での案を作成し、お示ししたいと考えており、それを基に市長と意見交換をしていただければと考えている。次に水産系高等教育機関の誘致について、道内の水産高校の現状を鑑みて、市教委内部で協議を行った中で国立の海洋技術の高等専門学校を誘致してはどうかという意見が上げられたところである。根室が国内屈指の水産都市としての将来像を考えたときにそのような誘致も必要なのではないかという部分で議論を進めていただければと考えている。

結びとして、後の教育施策について、各課課長から来年度予算要求の目玉事業となるものの説明を行い、もし意見等がある場合には意見交換の方を行いたいと考えている。

【 委 員 】

時間はどれほどを見込んでいるのか。

【 教育部長 】

例年1時間程度となっているが、特に時間の制限を設けてはいないので、心ゆくまで意見交換をしていただければと考えている。

③男女混合名簿に係る講演会の実施について

【 社会教育課長 】

令和2年11月19日（木）に根室市教育講演会として、男女混合名簿の導入についての講演会の開催を予定している。現在、全国の各学校において男女混合名簿の導入が進んでおり、これまでの認識では学校の出席簿等については男子50音順のあとに女子50音順といったような名簿で作成することが一般的であったが、これが男女関係なく50音順で作成するという動きがある。

根室市においては、根室高校が今年度から導入しており、小・中学校及び義務教育学校においては令和3年度からの導入を予定している。

男女混合名簿の導入は、男女共同参画の視点を含め、これまでの慣習や慣行に気づき、見直していくための第一歩となることから、家庭、学校、地域、職場の皆様の理解促進が非常に重要となる。

根室市の子ども達が学校生活をはじめ、社会に出てからもともに認め合い、支え合える人材へと成長していけるよう、今回の講演会を開催する。

講師については北海道教育大学釧路校の二宮信一教授をお招きし、「男女混合名簿の背後にあるもの」を演題といたしまして講演を行っていただく。

【 委 員 】

男女混合名簿に係る講演会の演題について「男女混合名簿の背後にあるもの」の「背後」とはどのような意味合いなのか。

【 教育部長 】

これまでの名簿のように男子が先で女子が後といった意識が義務教育機関の9年間で刷り込まれてしまうといったことや、トランスジェンダーの方々の尊重といった2つの視点があるのではないかと聞いている。

【 教育長 】

本日頂いた意見を参考とさせていただく。

午後2時30分 閉会